

2018年度第1四半期 決算・ビジネスハイライト

株式会社新生銀行
2018年8月

- **主要ポイント** ----- P 3
- **2018年度第1四半期決算概要** ----- P 4
- **決算概況** ----- P 5
- **ビジネス概況** ----- P 11
- **セグメント情報** ----- P 17
- **参考情報** ----- P 23

主要ポイント

1 実質業務純益：220億円（進捗率24%）

- 業務粗利益：569億円（進捗率24%、前年同期比2%減）
- 経費：348億円（進捗率24%、前年同期比3%減）
 - ✓ 経費率：61.2%（前年同期62.1%）

2 親会社株主に帰属する四半期純利益：90億円（進捗率17%）

- 与信関連費用：107億円（進捗率31%、前年同期比18%増）
 - ✓ 一時的要因も含まれ、高い進捗率は概ね想定通り（通期見込に変更なし）
- 親会社株主に帰属する四半期純利益：90億円（進捗率17%、前年同期比17%減）
 - ✓ 進捗率の主因は与信関連費用であり、通期業績予想（520億円）に大きな影響無し

3 レイクALSA

- 新規顧客獲得数：23千件、成約率：28.9%
 - ✓ レイクALSAの立ち上げに際し、旧バンク레이크との誤認防止措置やウェブサイト立ち上げに伴う顧客申し込み導線の混乱等により、申込数が減少し顧客スコアも低下
 - ✓ 本来的な「레이크」ブランドの実力発揮に向け、障害を取り除くための各種施策実施中

2018年度第1四半期決算：サマリー

(単位：10億円；%)

【連結】	17.4-6 (実績)	18.4-6 (実績)		18.4-19.3 (計画)	
		前年比 B(+)/W(-)	計画対比 達成率		
業務粗利益	57.8	56.9	-2%	24%	236.5
資金利益	31.9	33.4	+5%		
非資金利益	25.9	23.4	-10%		
経費	-35.9	-34.8	+3%	24%	-144.5
実質業務純益	21.9	22.0	+0%	24%	92.0
与信関連費用	-9.1	-10.7	-18%	31%	-34.0
与信関連費用加算後 実質業務純益	12.7	11.3	-11%	19%	58.0
その他	-1.8	-2.2	-22%	37%	-6.0
法人税・法人税等調整額	-1.2	-1.5	-25%		
親会社株主純利益	10.9	9.0	-17%	17%	52.0

ポイント

業務粗利益：YoY-2%

- ◆ 資金利益：YoY+5%
- ◆ 非資金利益：YoY-10%

経費：YoY +3%

- ◆ 経費率：61.2%
(1QFY2017: 62.1%)

実質業務純益：YoY+0%

与信関連費用：YoY-18%

- ◆ ストラクチャードファイナンス：19億円
- ◆ アプラスフィナンシャル：48億円
- ◆ 無担保ローン：46億円

与信関連費用加算後実質業務純益：YoY-11%

その他：YoY -22%

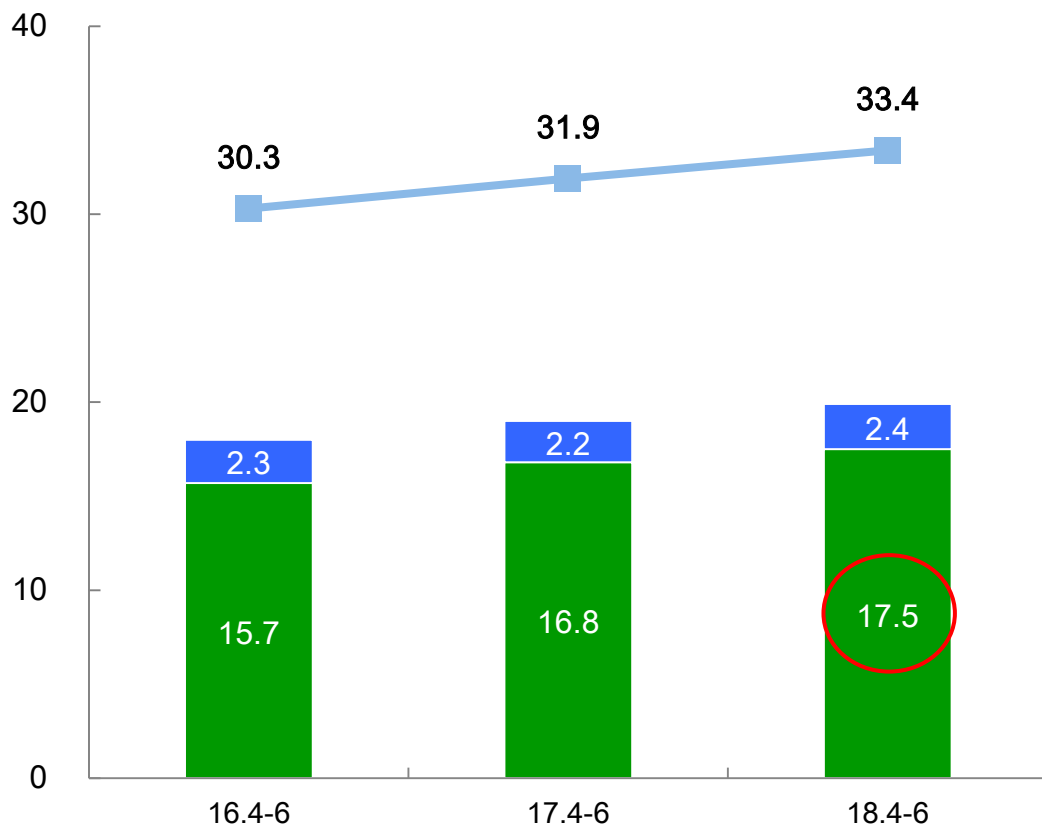
- ◆ 法人税・法人税等調整（費用）が主因

決算概況：資金利益、非資金利益

(単位：10億円)

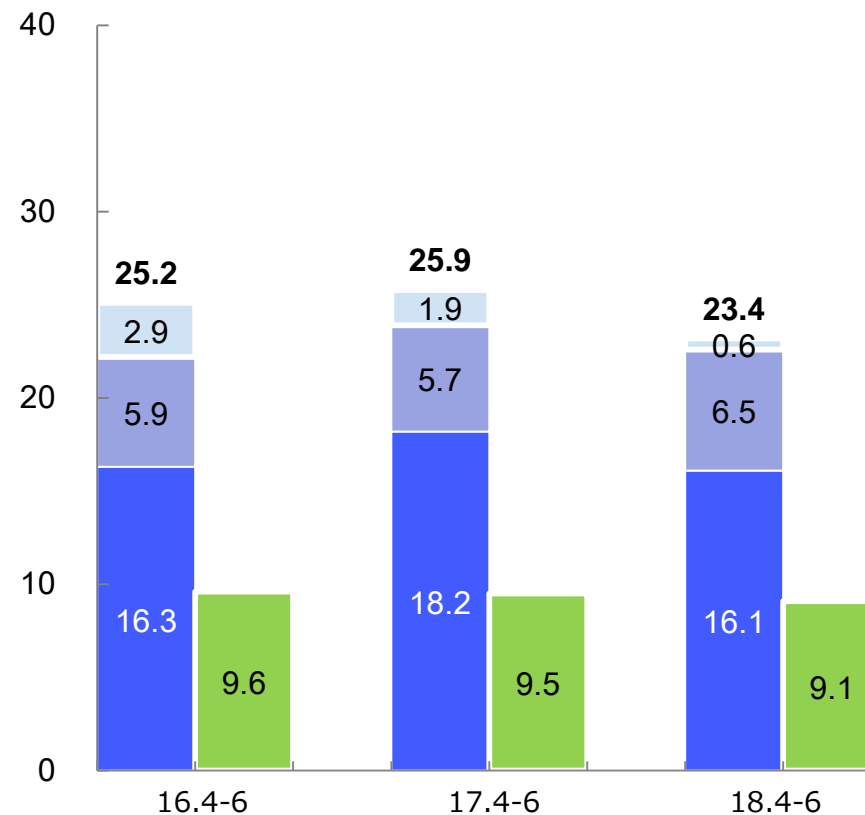
資金利益

- 資金利益
- うち、ストラクチャードファイナンス
- うち、無担保ローン
(レイク事業、ノーローン、新生銀行スマートカードローンプラス)



非資金利益

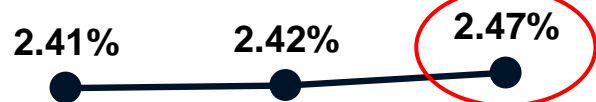
- 特定取引利益
- 役務取引等利益
- その他業務利益
- うち、リース収益・割賦収益



決算概況：純資金利鞘、運用利回り、調達利回り

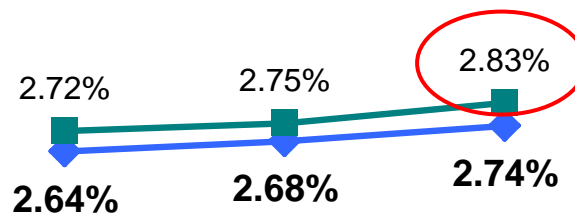
(単位：%)

純資金利鞘(NIM) ¹



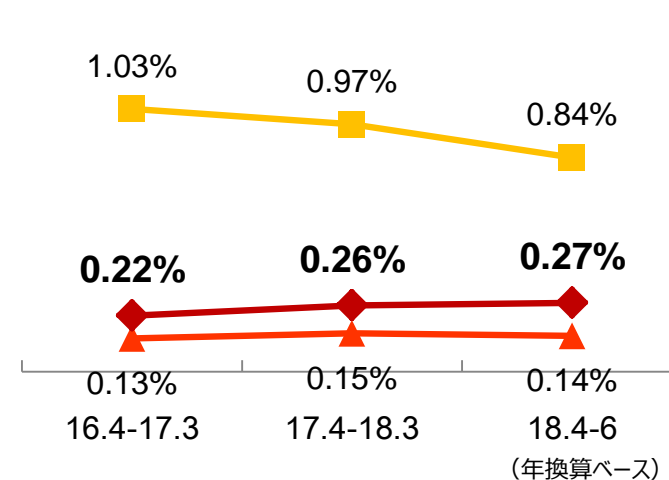
資金運用利回り

- 貸出金の運用利回り
- ◆ 総資金運用利回り¹
- ▲ 有価証券の運用利回り



資金調達利回り

- 社債の調達利回り
- ◆ 総資金調達利回り
- ▲ 預金・譲渡性預金の調達利回り



16.4-17.3 17.4-18.3 18.4-6
(年換算ベース)

16.4-17.3 17.4-18.3 18.4-6
(年換算ベース)

16.4-17.3 17.4-18.3 18.4-6
(年換算ベース)

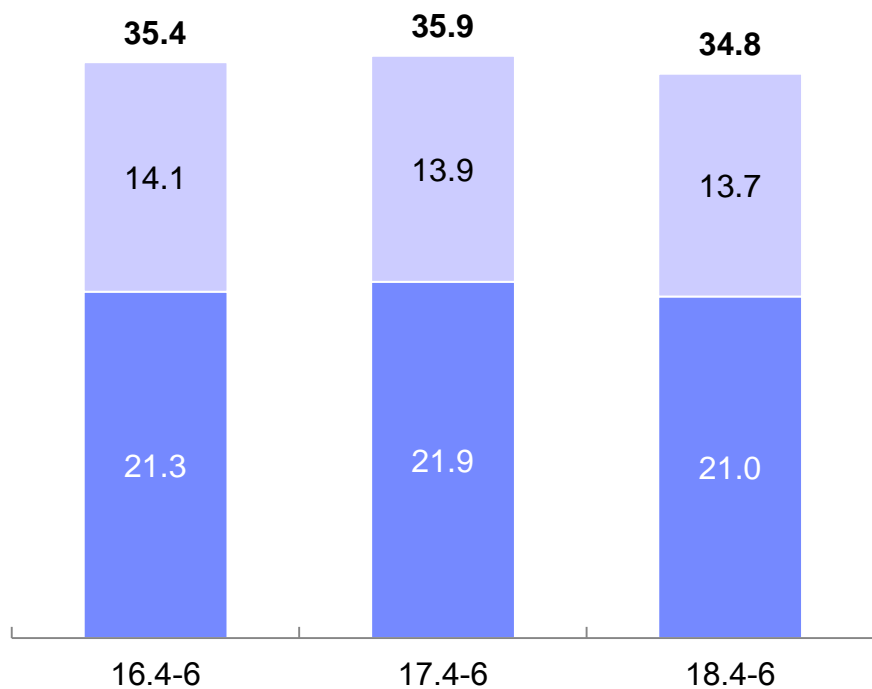
¹ リース・割賦売掛金を含む

決算概況：経費、経費率

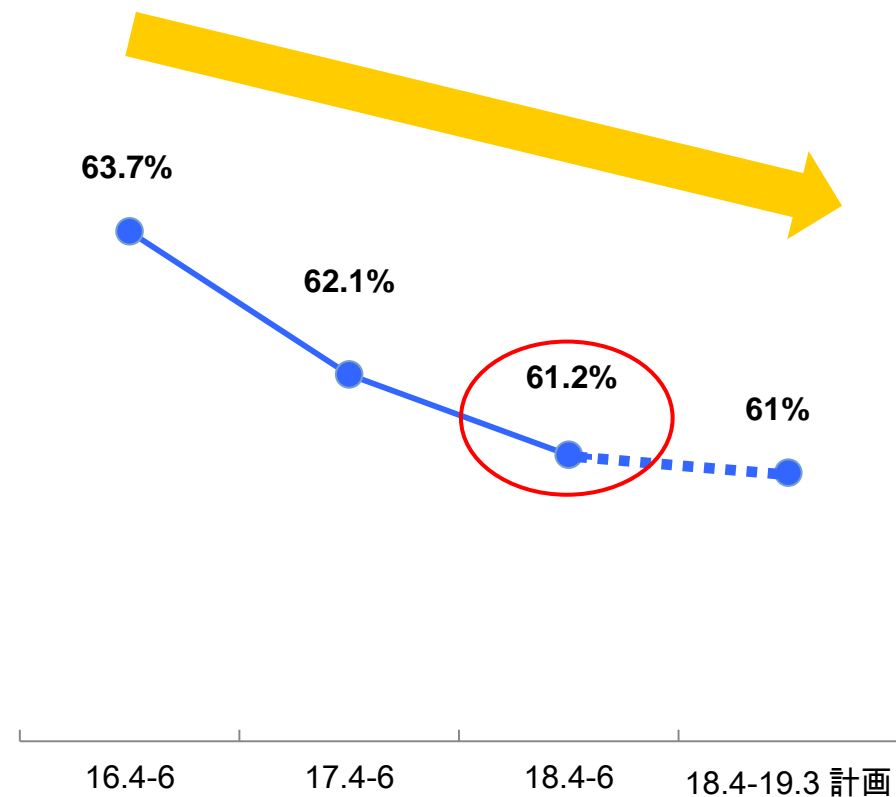
(単位：10億円)

経費

- 人件費
- 物件費



経費率



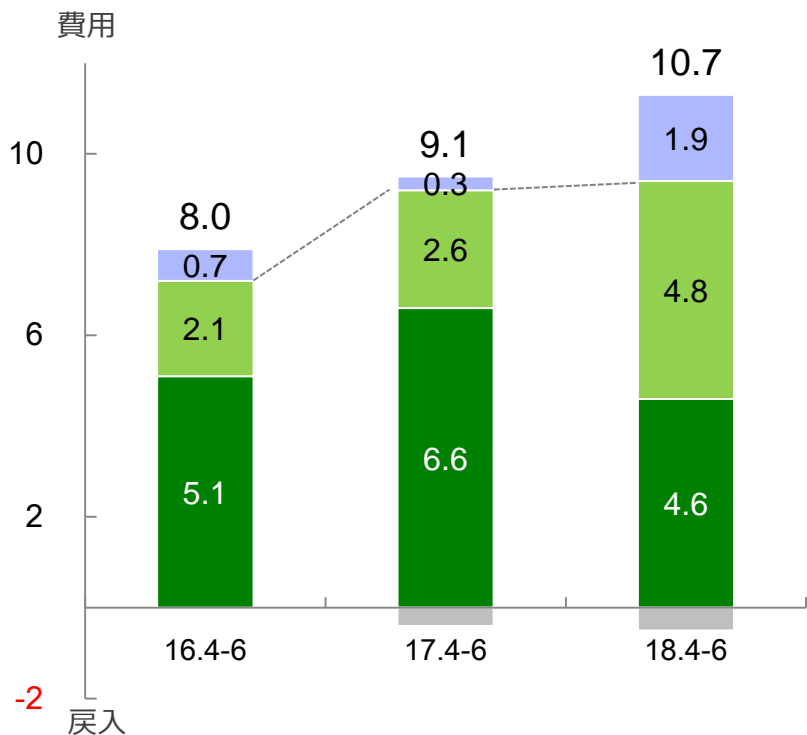
決算概況：与信関連費用

(単位：10億円)

与信関連費用

- 与信関連費用は、前年同期比18%増
- ストラクチャードファイナンスは、不動産ファイナンスや船舶ファイナンスにおける海外案件の新規実行が主因で増加
- コンシューマーファイナンスは、アプラスフィナンシャルでの増加を無担保ローンでの減少が打ち消し、前年同期比横ばい

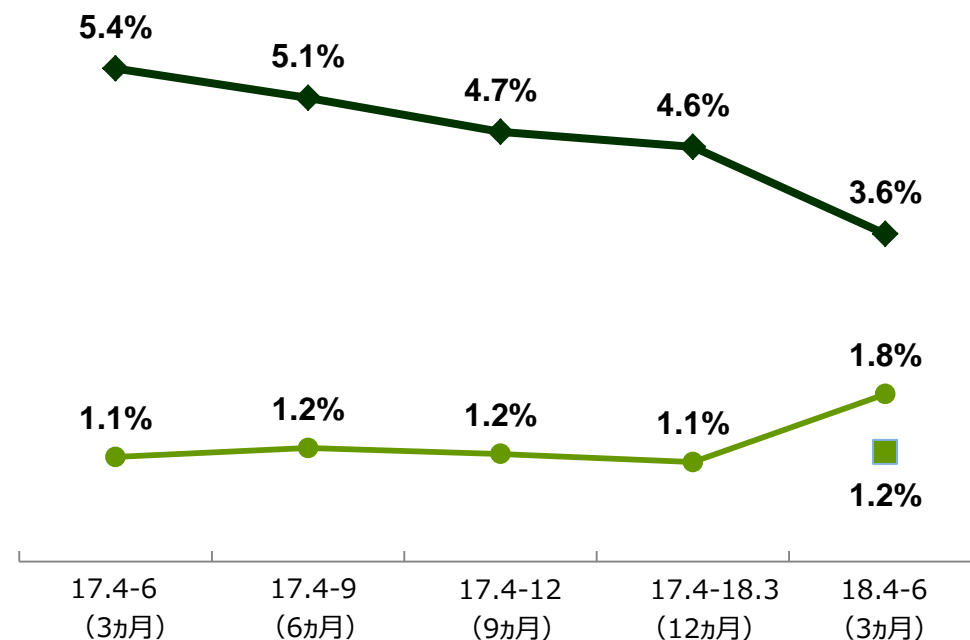
- ストラクチャードファイナンス
- アプラスフィナンシャル
- 無担保ローン
(レイク事業、ノーローン、保証、新生銀行スマートカードローンプラス)
- その他 (法人営業、昭和リース、金融市場等)



コンシューマーファイナンスの与信関連費用率

- 無担保ローンの与信関連費用率は、同残高が2018年3月末からやや減少したことに伴う与信関連費用の減少により、3.6%へ低下
- アプラスフィナンシャルの与信関連費用率は、延滞債権の一括売却処理に伴う追加繰入により、1.8%へ上昇。当該要因を除いたベースの与信関連費用率は1.2%

- ◆ 無担保ローンの与信関連費用率 (年換算ベース¹)
- アプラスフィナンシャルの与信関連費用率 (年換算ベース¹)
- アプラスフィナンシャルの与信関連費用率 (延滞債権一括売却処理要因を除く年換算ベース¹)

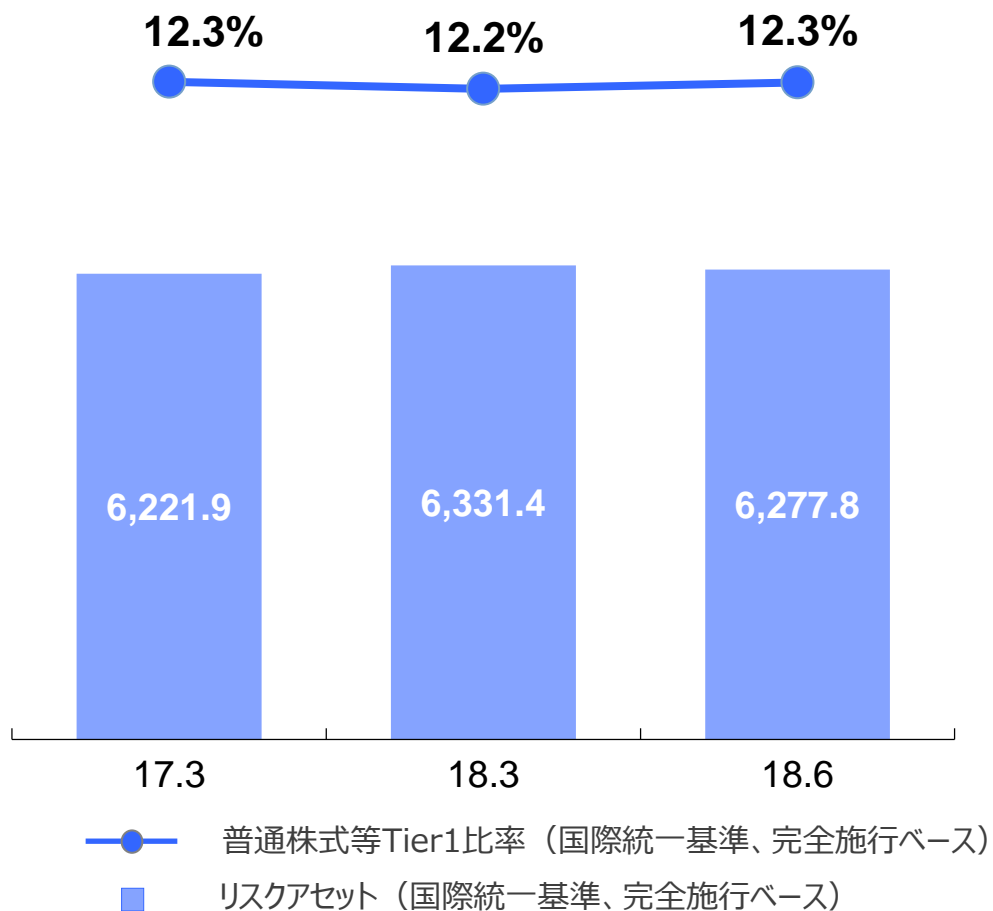


¹ 与信関連費用率 = (与信関連費用 ÷ 営業性資産残高の期首・期末平均) を年換算

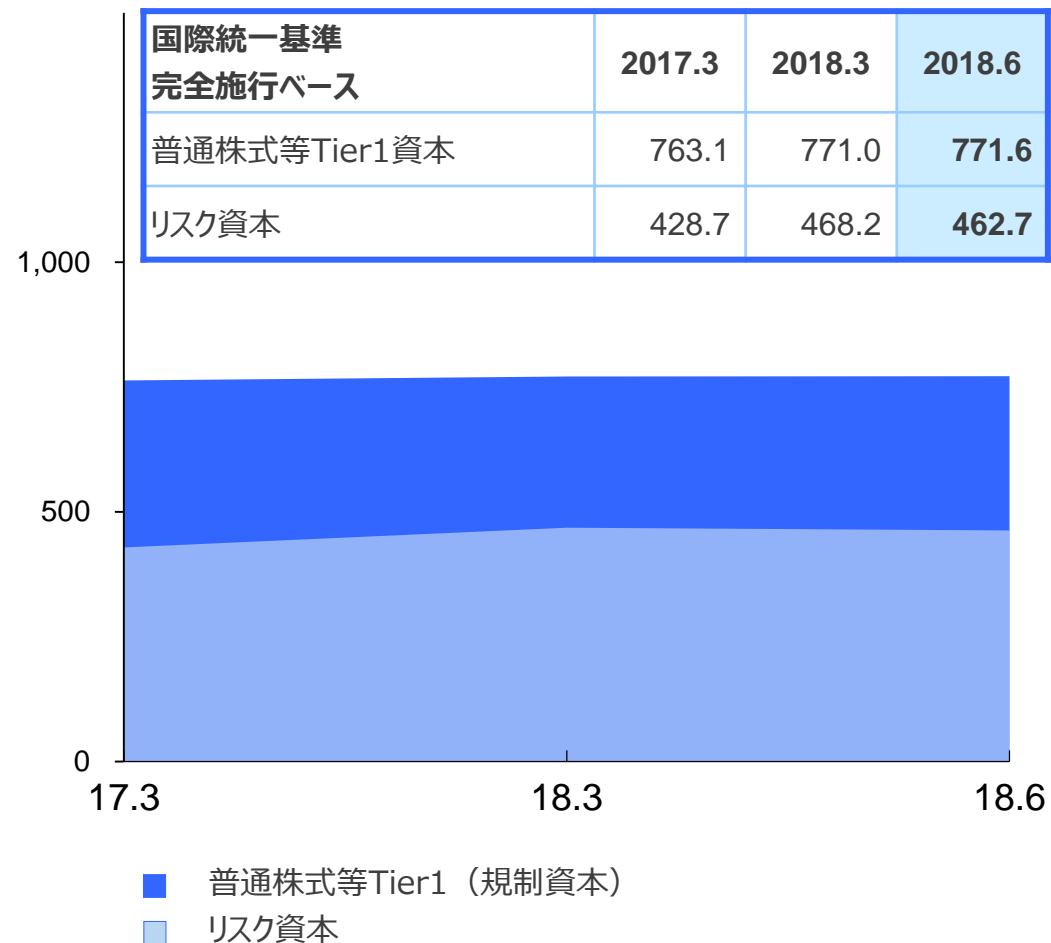
決算概況：自己資本

(単位：10億円)

普通株式等Tier1比率



資本の額

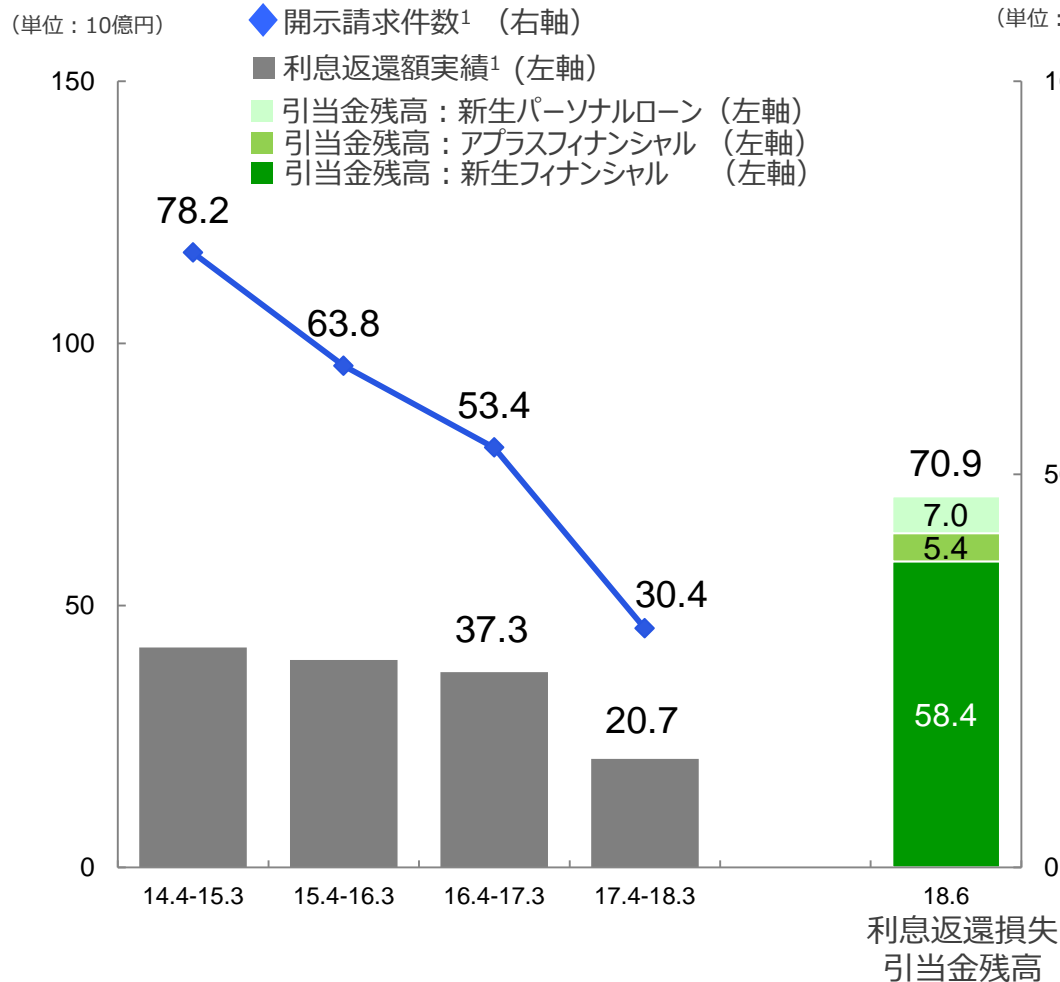


決算概況：過払利息返還

(単位：10億円)

年間推移

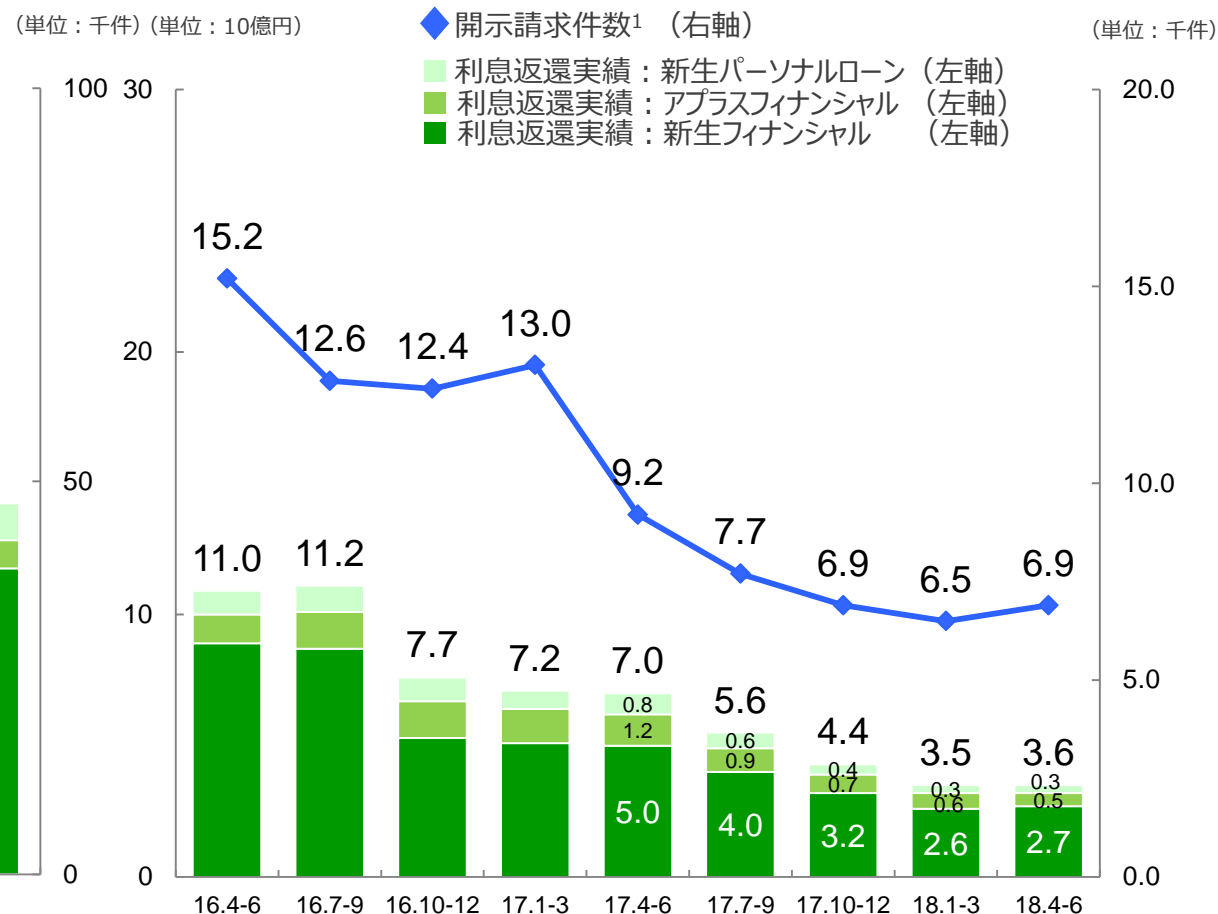
- 2018年4-6月期の利息返還額実績に対する引当金の水準は、グループ全体で4.8年分（新生フィナンシャル：約5年分、アプラスフィナンシャル：約2年分、新生パーソナルローン：約4年分）



¹ 新生フィナンシャル、新生パーソナルローン、アプラスフィナンシャルの3社合算

近時の四半期推移

- 2018年4-6月期の開示請求件数と利息返還実績は、特定の事務所の広告活動再開により、2018年1-3月期から増加



ビジネス概況

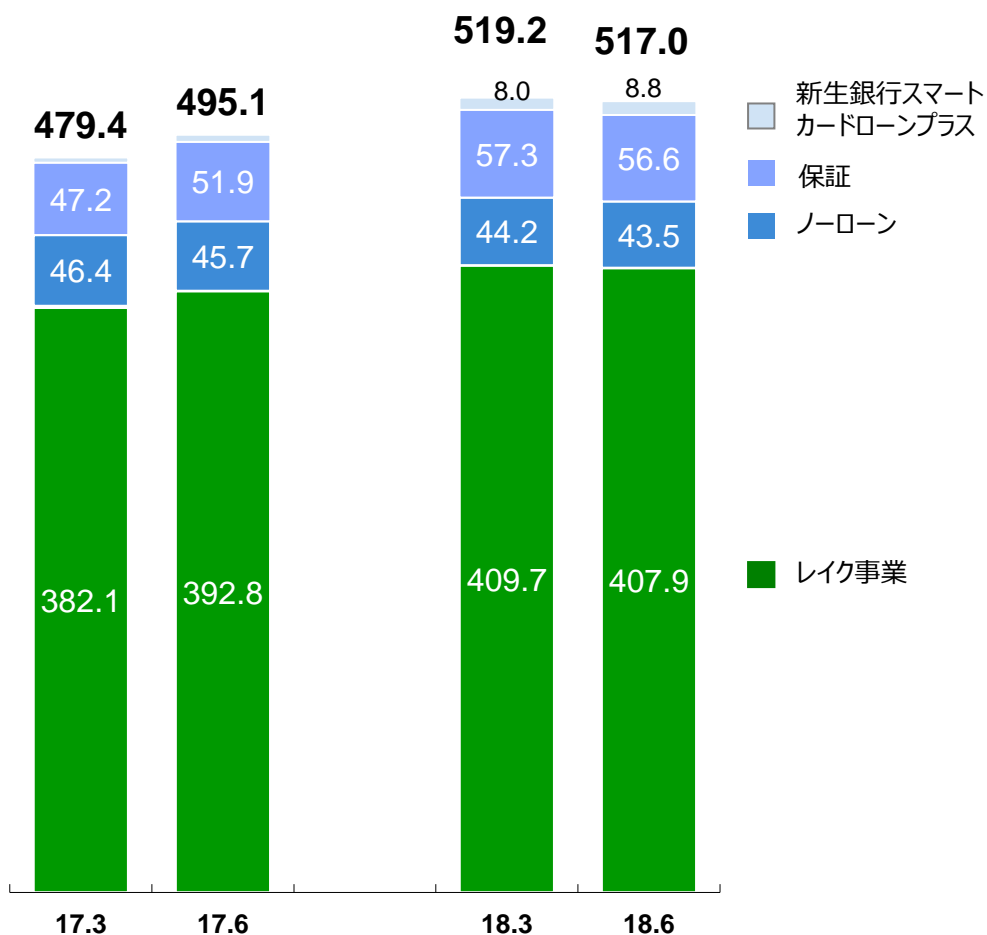


ビジネス：無担保ローン

(単位：10億円; %)

残高

- 無担保ローン残高は、2017年6月末比4%増
- レイク事業の残高は、레이크ALSAの新規顧客獲得の出遅れにより、2018年3月末からやや減少



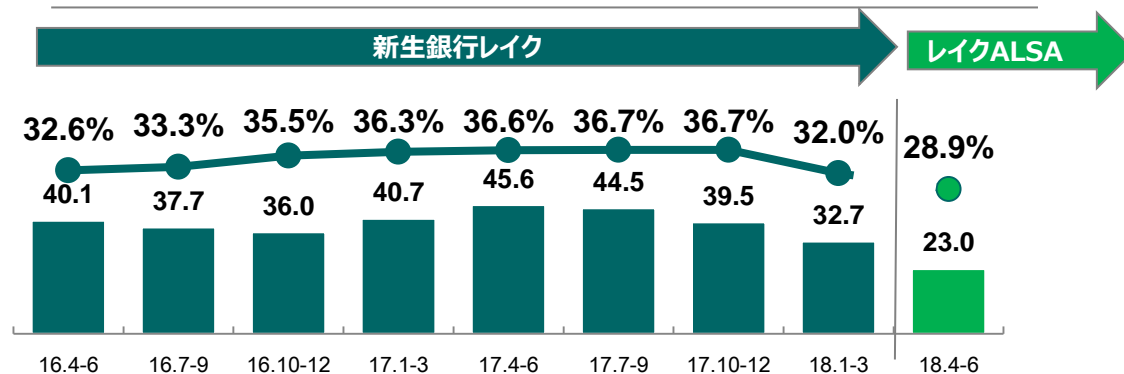
損益

- 新規顧客獲得数の改善に向けた施策：スムーズな顧客誘導に向けたウェブサイトコンテンツの見直し、広告表現の見直しなど

新生フィナンシャル ¹	17.4-6	18.4-6	YoY B(+)/W(-)
資金利益	16.8	17.5	+4%
うち、레이크事業	15.2	16.0	+5%
非資金利益	-0.1	0.0	n.m.
業務粗利益	16.7	17.5	+5%
経費	-8.3	-8.2	+1%
実質業務純益	8.3	9.2	+11%
与信関連費用	-6.6	-4.6	+30%
与信関連費用加算後実質業務純益	1.7	4.6	+171%

¹ 新生フィナンシャルの他、新生銀行레이크、新生銀行スマートカードローンプラスの損益を含む

레이크：新規顧客獲得数(千件)、成約率 (%)



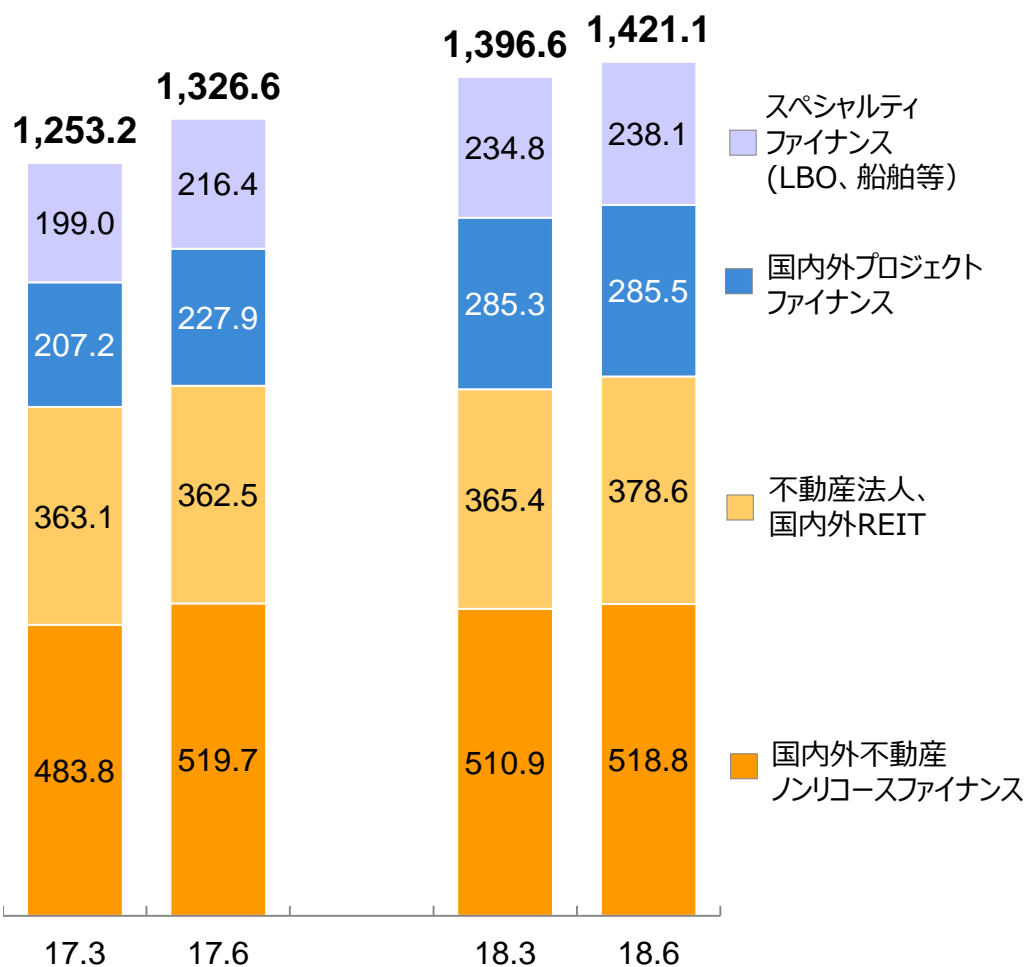
ビジネス：ストラクチャードファイナンス

(単位：10億円；%)

残高

- ストラクチャードファイナンス残高は、2017年6月末比7%増
- 国内プロジェクトファイナンスの新規コミットは、太陽光や風力発電により引き続き増加

【営業性資産残高】

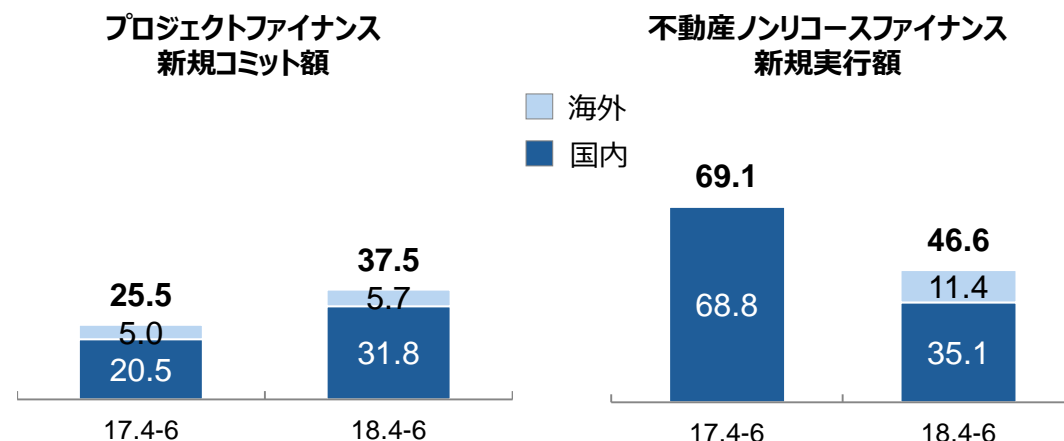


損益

- 与信関連費用の増加は、不動産ファイナンスや船舶ファイナンスの海外案件の新規実行が主因
- 国内不動産ファイナンスは、市況、各案件のリスク・リターン、ポートフォリオの分散を踏まえ、選別的に新規案件を実行

ストラクチャードファイナンス	17.4-6	18.4-6	YoY B(+)/W(-)
資金利益	2.2	2.4	+9%
非資金利益	1.7	1.0	-41%
経費	-1.7	-1.9	-12%
実質業務純益	2.2	1.6	-27%
与信関連費用	-0.3	-1.9	-533%
与信関連費用加算後実質業務純益	1.9	-0.2	n.m.

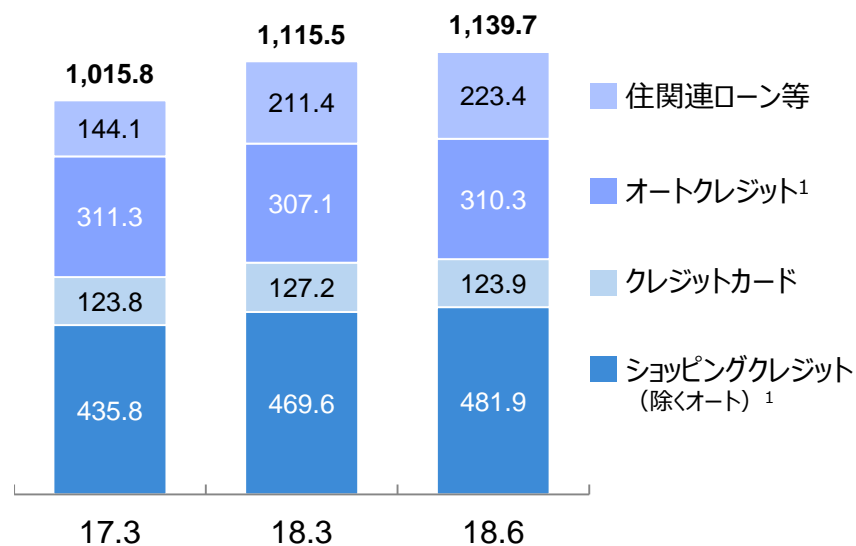
新規コミット額、新規実行額



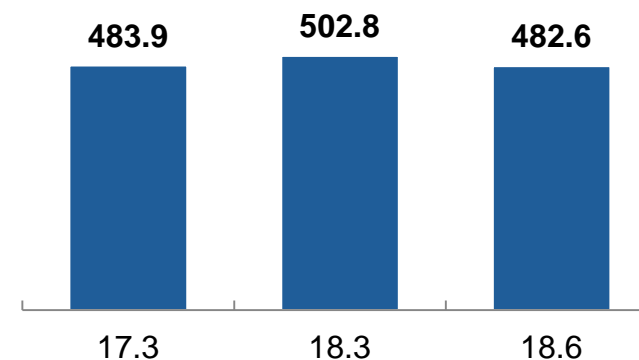
ビジネス：アプラスフィナンシャル、昭和リース

(単位：10億円; %)

アプラスフィナンシャル：営業債権残高



昭和リース：営業性資産残高



アプラスフィナンシャル	17.4-6	18.4-6	YoY B(+)/W(-)
資金利益	2.7	2.8	+4%
非資金利益	11.1	11.4	+3%
経費	-9.2	-8.9	+3%
実質業務純益	4.5	5.2	+16%
与信関連費用	-2.6	-4.8	-85%
与信関連費用加算後実質業務純益	1.9	0.4	-79%

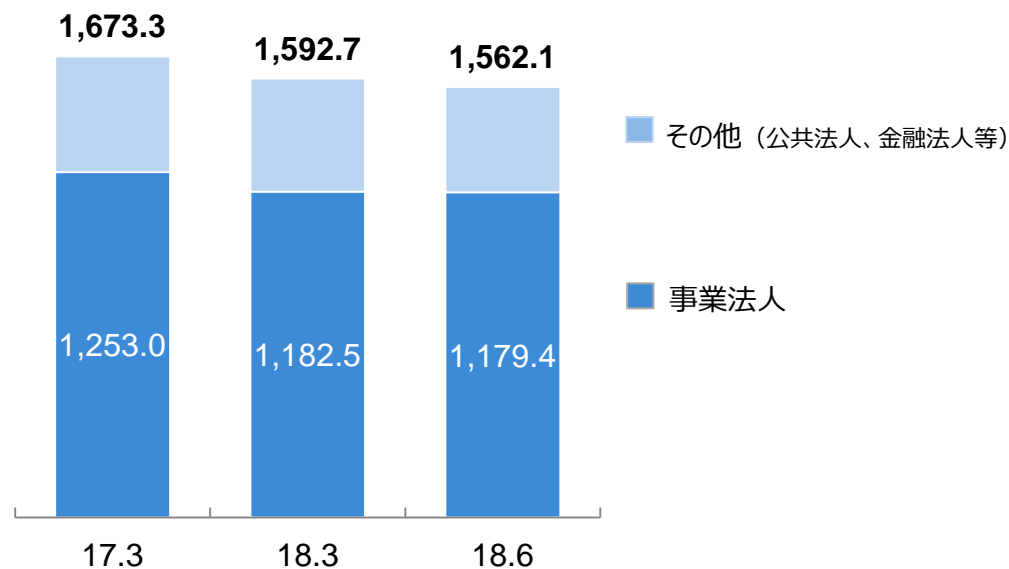
昭和リース	17.4-6	18.4-6	YoY B(+)/W(-)
資金利益	-0.0	-0.0	0%
非資金利益	3.2	3.8	+19%
経費	-1.9	-2.3	-21%
実質業務純益	1.2	1.4	+17%
与信関連費用	-0.2	0.7	n.m.
与信関連費用加算後実質業務純益	0.9	2.2	+144%

¹ 信用保証業務を含む

ビジネス：法人営業、金融市場

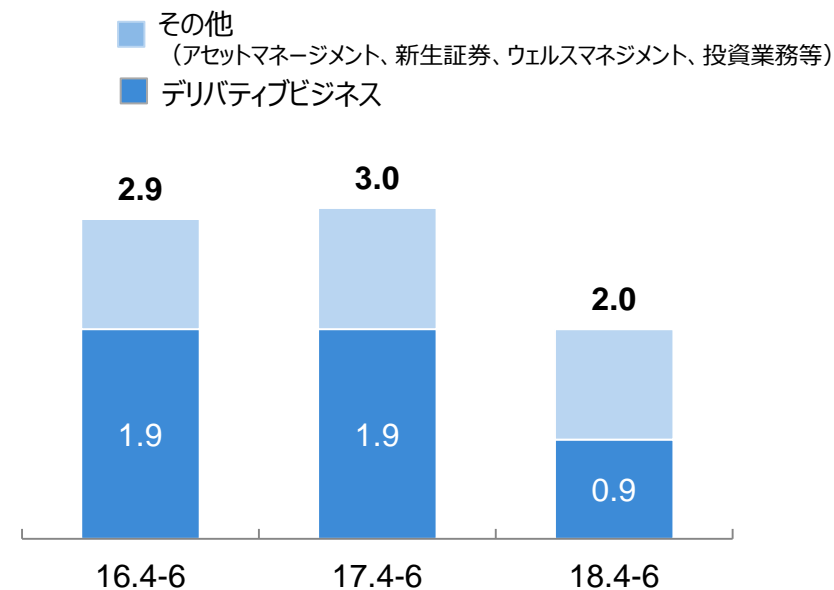
(単位：10億円; %)

法人営業：営業性資産残高



法人営業	17.4-6	18.4-6	YoY B(+)/W(-)
資金利益	2.6	2.5	-4%
非資金利益	1.4	1.0	-29%
経費	-2.9	-3.0	-3%
実質業務純益	1.0	0.6	-40%
与信関連費用	0.4	0.0	-100%
与信関連費用加算後実質業務純益	1.4	0.6	-57%

金融市場：デリバティブビジネスの業務粗利益



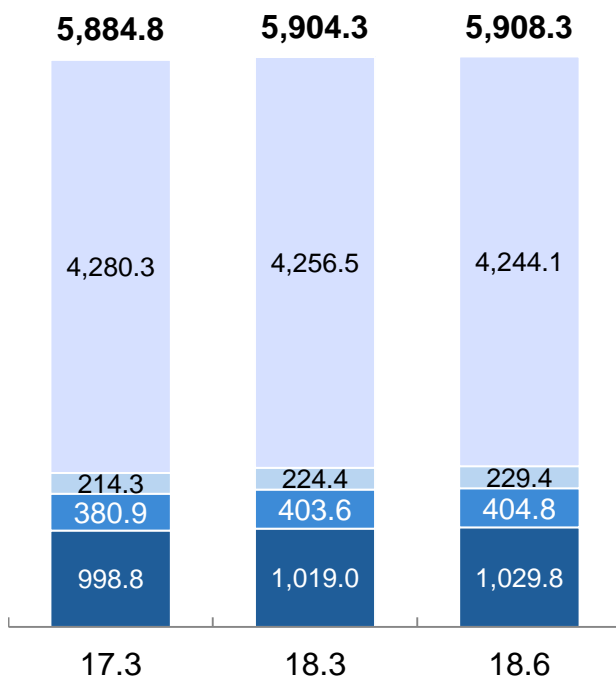
金融市場	17.4-6	18.4-6	YoY B(+)/W(-)
資金利益	0.6	0.5	-17%
非資金利益	2.4	1.5	-38%
経費	-1.7	-1.7	0%
実質業務純益	1.2	0.2	-83%
与信関連費用	0.0	0.0	0%
与信関連費用加算後実質業務純益	1.2	0.2	-83%

ビジネス：リテールバンキング

(単位：10億円；%)

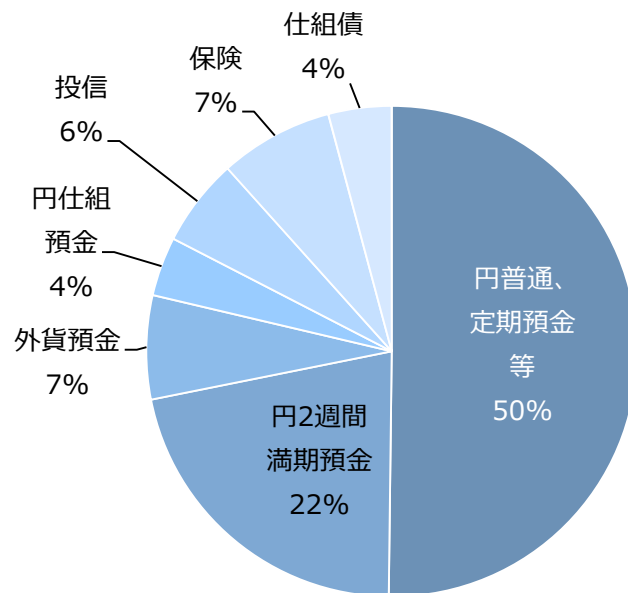
預り資産：残高

- 円預金
- 円仕組預金
- 外貨預金
- 資産運用商品（投信、保険、仕組債）



預り資産：構成

(2018年6月末時点)



損益

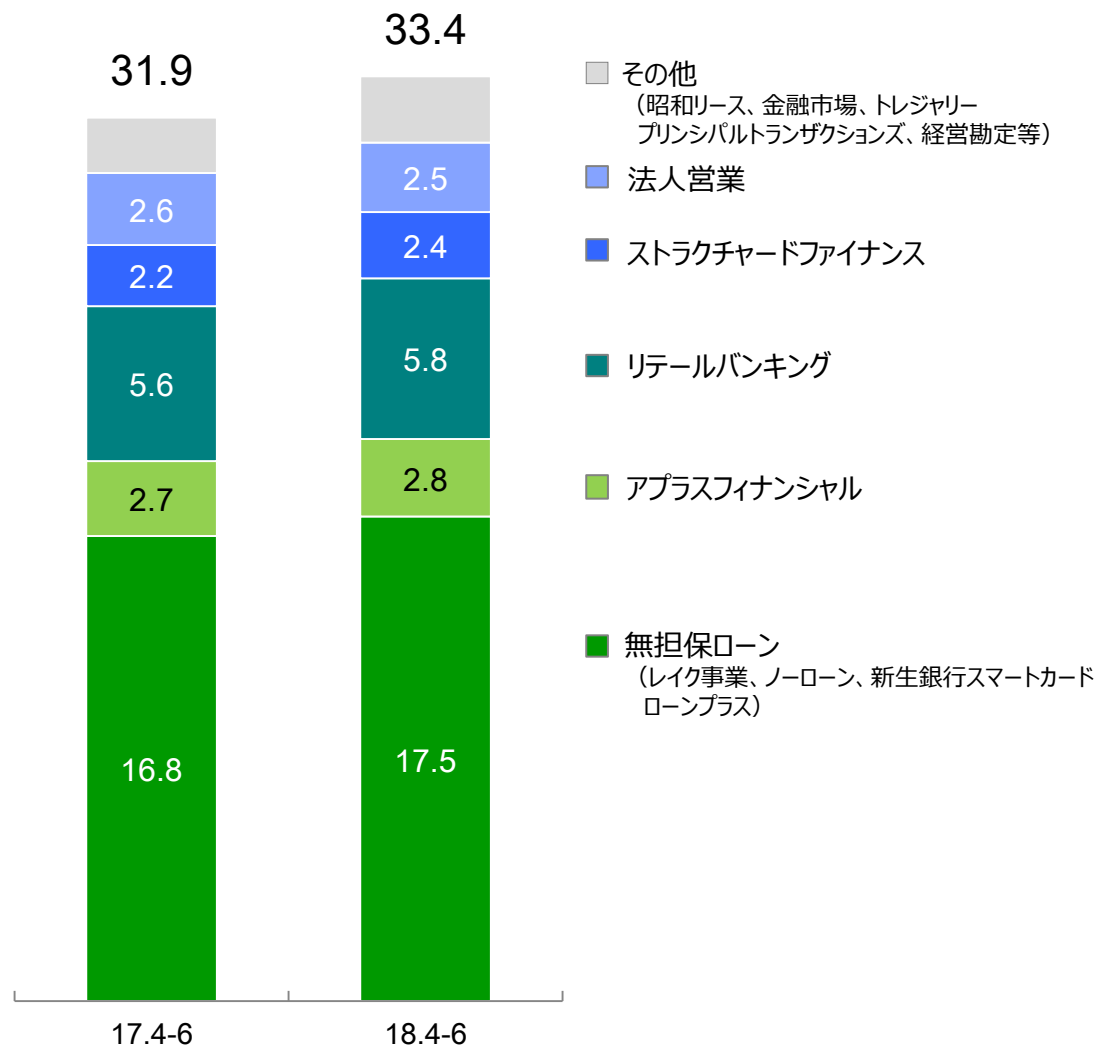
	17.4-6	18.4-6	YoY B(+)/W(-)
リテールバンキング	17.4-6	18.4-6	
資金利益	5.6	5.8	+4%
うち、貸出	2.6	2.5	-4%
うち、預金等	3.0	3.3	+10%
非資金利益	0.0	0.4	n.m.
うち、資産運用商品	1.5	1.7	+13%
うち、その他手数料 (貸出業務手数料、ATM、 為替送金、外為等)	-1.4	-1.2	+14%
経費	-7.4	-6.9	+7%
実質業務純益	-1.6	-0.5	+69%
与信関連費用	-0.0	0.0	n.m.
与信関連費用加算後 実質業務純益	-1.7	-0.5	+71%

セグメント情報

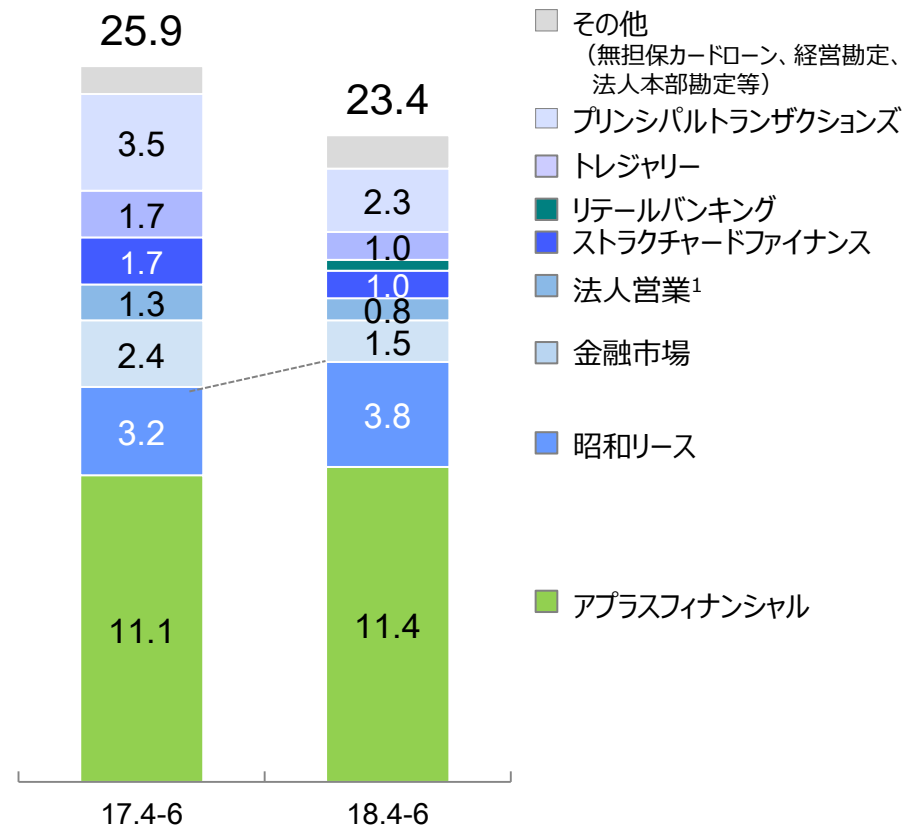
セグメント別：資金利益、非資金利益

(単位：10億円)

資金利益：セグメント別YoY



非資金利益：セグメント別YoY

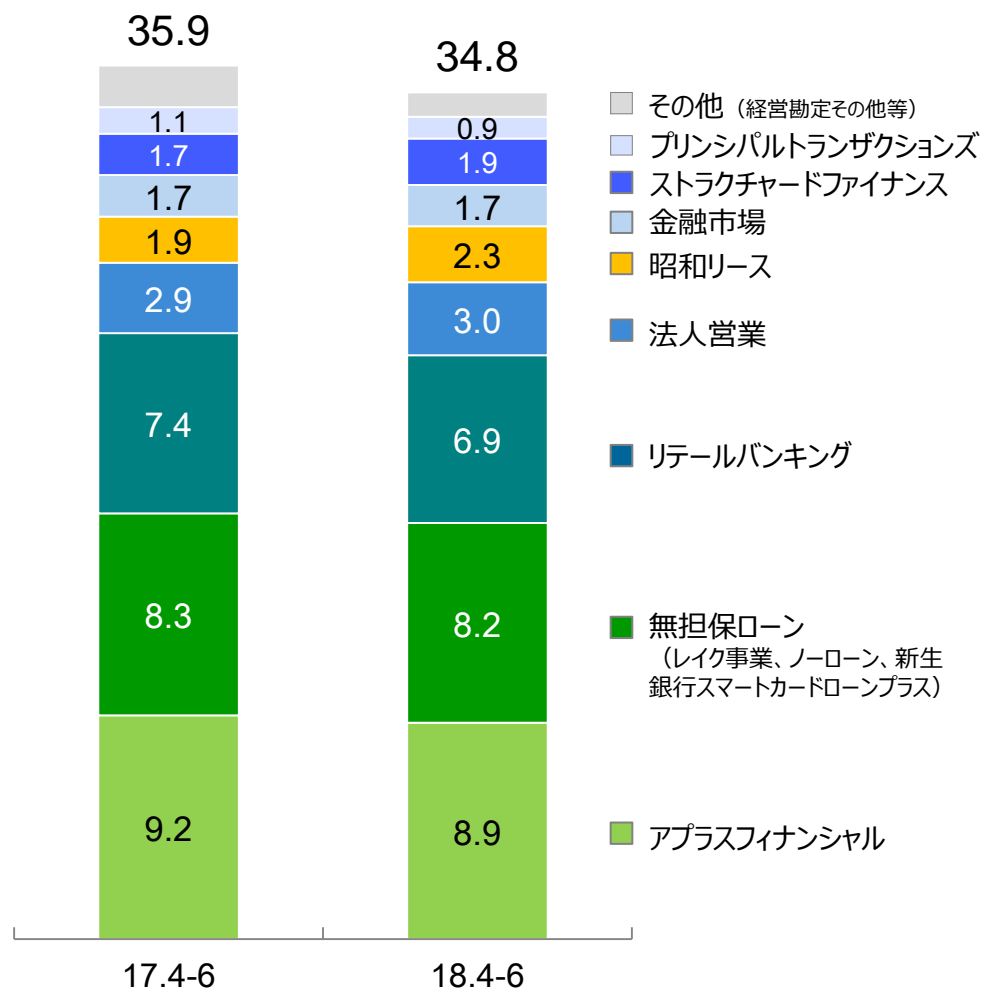


¹ 法人本部勘定等を除く

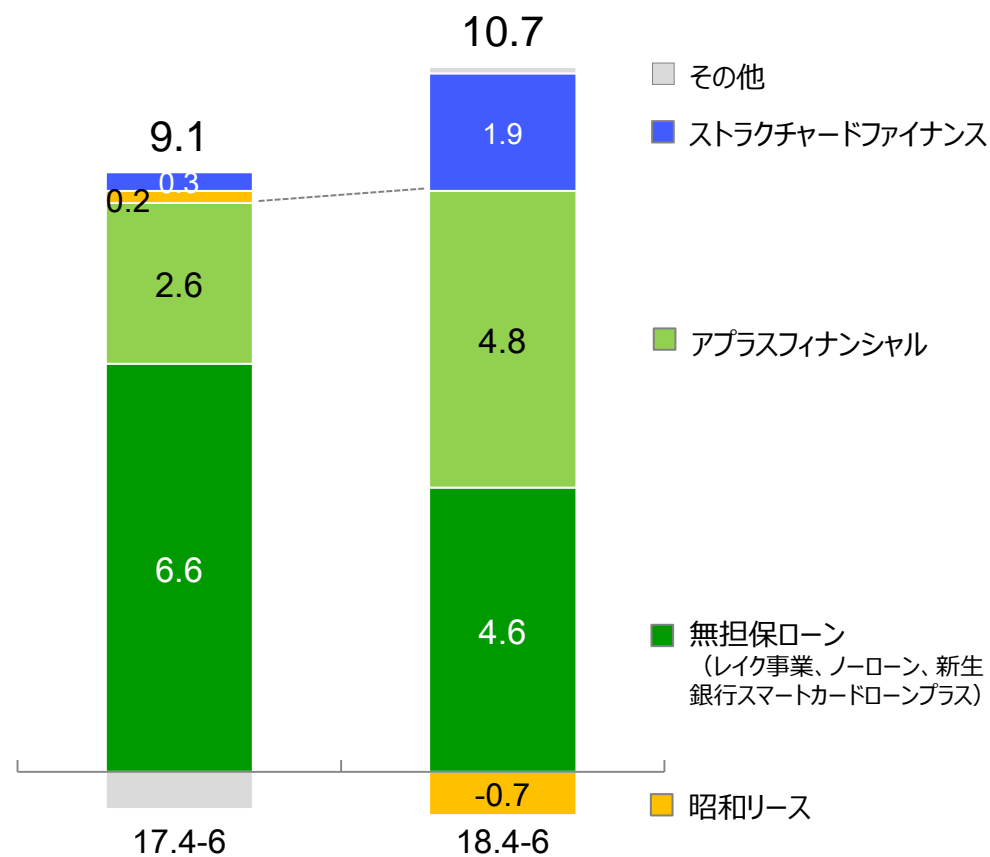
セグメント別：経費、与信関連費用

(単位：10億円)

経費：セグメント別YoY



与信関連費用：セグメント別YoY

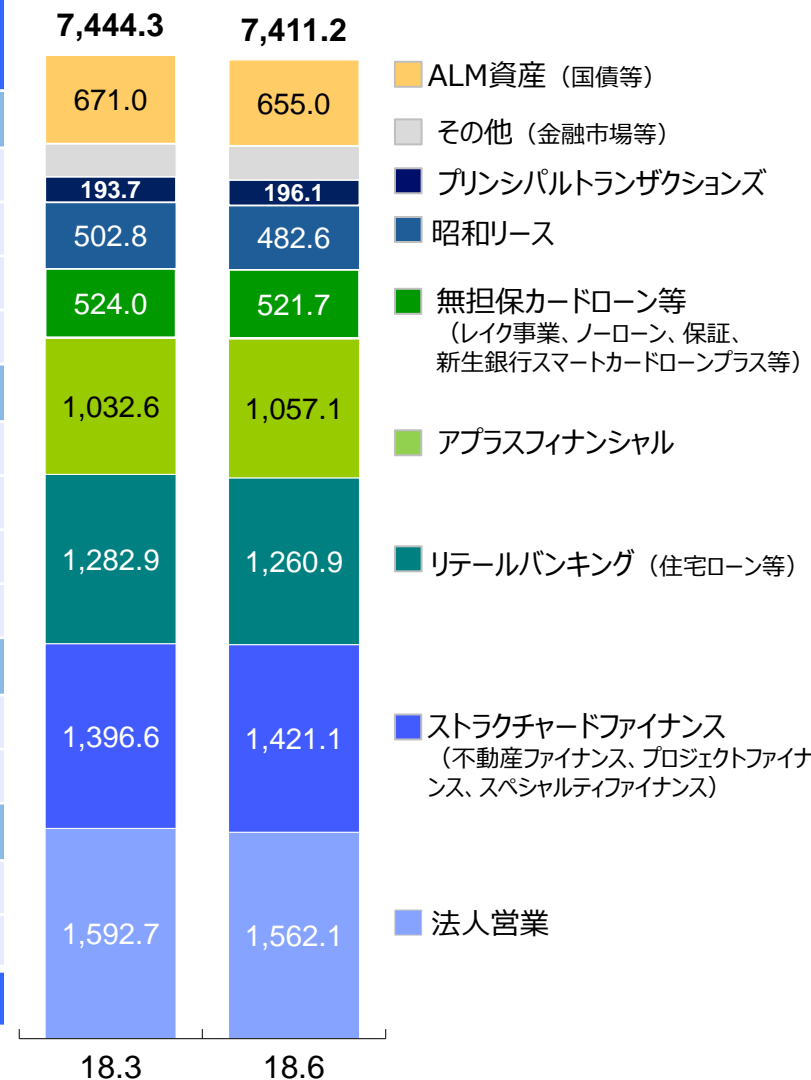


セグメント別：利益と営業性残高(1QFY2018)

(単位：10億円；%)

セグメント	18.4-6 (1QFY2018)		
	金額 (与信関連費用加算後 実質業務純益)	構成比	ROA ³
個人業務	4.5	40%	-
リテールバンキング	-0.5	-4%	-0.2%
新生フィナンシャル ¹	4.6	41%	3.5%
アプラスフィナンシャル	0.4	4%	0.2%
その他	0.0	0%	0.3%
法人業務	5.0	44%	-
法人営業	0.6	5%	0.2%
ストラクチャードファイナンス	-0.2	-2%	-0.1%
プリンシパルトランザクションズ	2.4	21%	5.1%
昭和リース	2.2	19%	1.8%
金融市場業務	0.2	2%	-
市場営業	0.3	3%	n.m.
その他	-0.1	-1%	n.m.
経営勘定/その他	1.4	12%	-
トレジャリー	1.0	9%	0.6%
経営勘定/その他 (トレジャリー除く)	0.4	4%	n.m.
合計 (与信関連費用加算後実質業務純益)	11.3	100%	0.6%

営業性資産² + ALM資産



(注記) 経営管理上、資金調達業務に係る費用を、資金運用業務の経費として配賦しています

¹ 新生フィナンシャルの他、新生銀行レイク、新生銀行スマートカードローンプラスを含みます

² 調達を必要としない保証 (支払承諾見返) を含みます

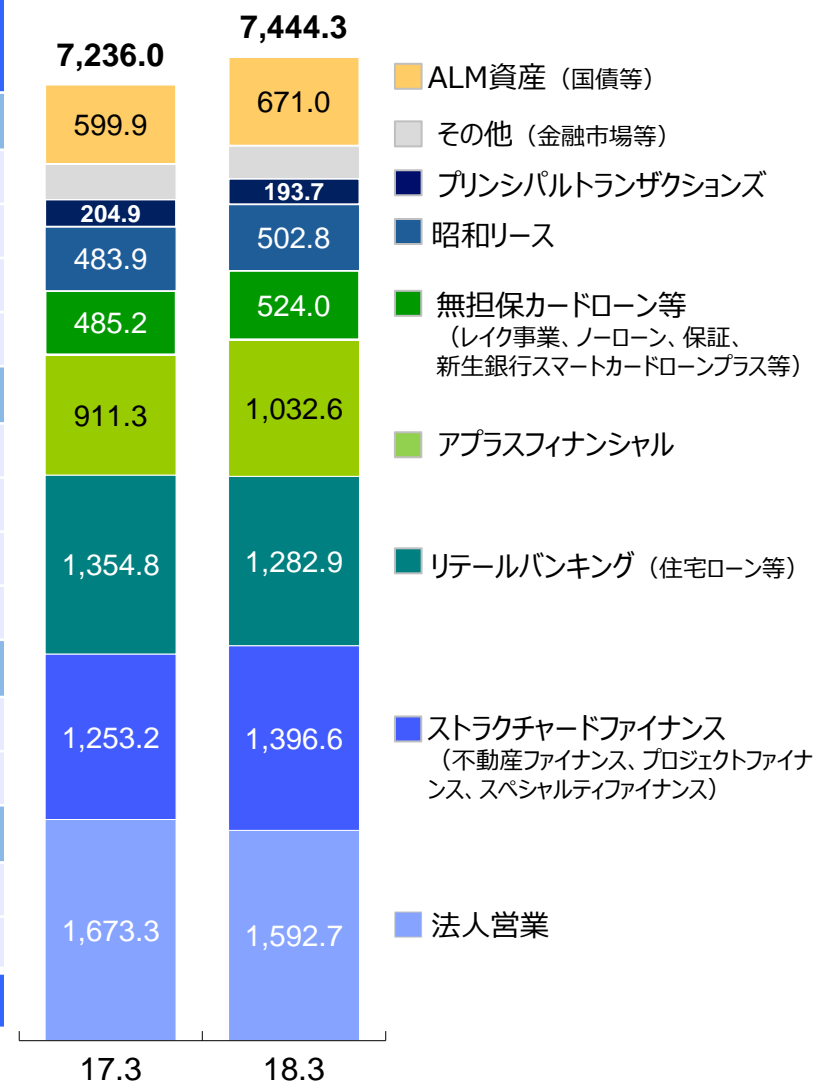
³ セグメントROA = セグメントの与信関連費用加算後実質業務純益 ÷ 期初と期末のセグメントの営業性資産の平均残高

セグメント別：利益と営業性残高(FY2017)

(単位：10億円；%)

セグメント	17.4-18.3 (FY2017)		
	金額 (与信関連費用加算後 実質業務純益)	構成比	ROA ³
個人業務	19.0	36%	-
リテールバンキング	-5.8	-11%	-0.4%
新生フィナンシャル ¹	13.7	26%	2.7%
アプラスフィナンシャル	9.1	17%	0.9%
その他	2.0	4%	4.8%
法人業務	28.6	55%	-
法人営業	6.6	13%	0.4%
ストラクチャードファイナンス	8.4	16%	0.6%
プリンシパルトランザクションズ	9.3	18%	4.7%
昭和リース	4.2	8%	0.9%
金融市場業務	4.3	8%	-
市場営業	4.8	9%	n.m.
その他	-0.5	-1%	n.m.
経営勘定/その他	0.2	0%	-
トレジャリー	1.0	2%	0.2%
経営勘定/その他 (トレジャリー除く)	-0.8	-2%	n.m.
合計 (与信関連費用加算後実質業務純益)	52.1	100%	0.8%

営業性資産² + ALM資産



(注記) 経営管理上、資金調達業務に係る費用を、資金運用業務の経費として配賦しています

¹ 新生フィナンシャルの他、新生銀行レイク、新生銀行スマートカードローンプラスを含みます

² 調達を必要としない保証 (支払承諾見返) を含みます

³ セグメントROA = セグメントの与信関連費用加算後実質業務純益 ÷ 期初と期末のセグメントの営業性資産の平均残高

セグメント別：四半期ベースの利益

(単位：10億円)

セグメント利益 (与信関連費用加算後実質業務純益)	FY2017				FY2018
	17.4-6	17.7-9	17.10-12	18.1-3	18.4-6
個人業務	2.1	3.1	6.5	7.1	4.5
リテールバンキング	-1.7	-1.7	-1.3	-1.0	-0.5
新生フィナンシャル ¹	1.7	3.0	4.8	4.1	4.6
アプラスフィナンシャル	1.9	1.5	2.7	2.9	0.4
その他	0.3	0.2	0.3	1.0	0.0
法人業務	8.7	7.6	5.6	6.5	5.0
法人営業	1.4	4.0	0.3	0.7	0.6
ストラクチャードファイナンス	1.9	0.7	2.5	3.1	-0.2
プリンシパルトランザクションズ	4.3	1.8	2.9	0.1	2.4
昭和リース	0.9	0.8	-0.1	2.4	2.2
金融市場業務	1.2	0.4	0.8	1.7	0.2
市場営業	1.3	0.6	0.9	1.8	0.3
その他	-0.0	-0.1	-0.1	-0.1	-0.1
経営勘定/その他	0.5	0.4	0.3	-1.1	1.4
トレジャリー	0.7	0.4	0.5	-0.6	1.0
経営勘定/その他 (トレジャリー除く)	-0.1	-0.0	-0.1	-0.4	0.4
合計 (与信関連費用加算後実質業務純益)	12.7	11.6	13.4	14.3	11.3

(注記) 経営管理上、資金調達業務に係る費用を、資金運用業務の経費として配賦しています

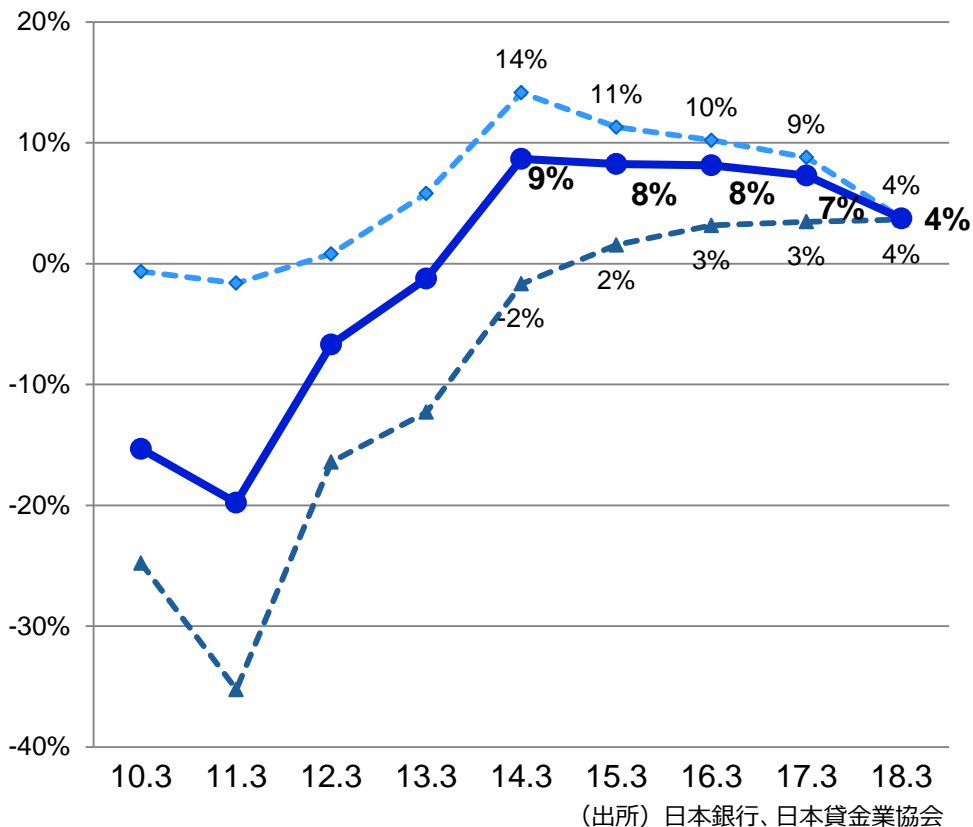
¹ 新生フィナンシャルの他、新生銀行レイク、新生銀行スマートカードローンプラスを含みます

参考情報



無担保ローンの市場

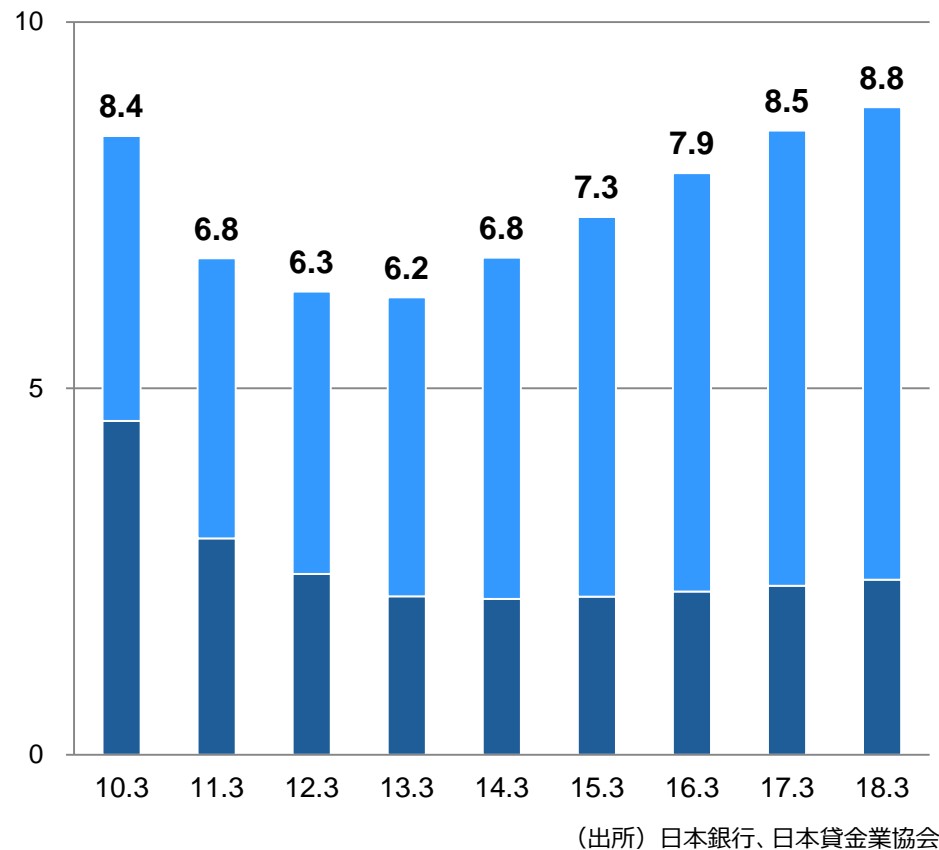
無担保ローン市場の成長率



- ◆ YoY 銀行カードローン残高成長率
- YoY 無担保ローン (銀行カードローン+専業 無担保ローン) 残高成長率
- ▲ YoY 専業 無担保ローン残高成長率

無担保ローン市場の規模

(単位：兆円)



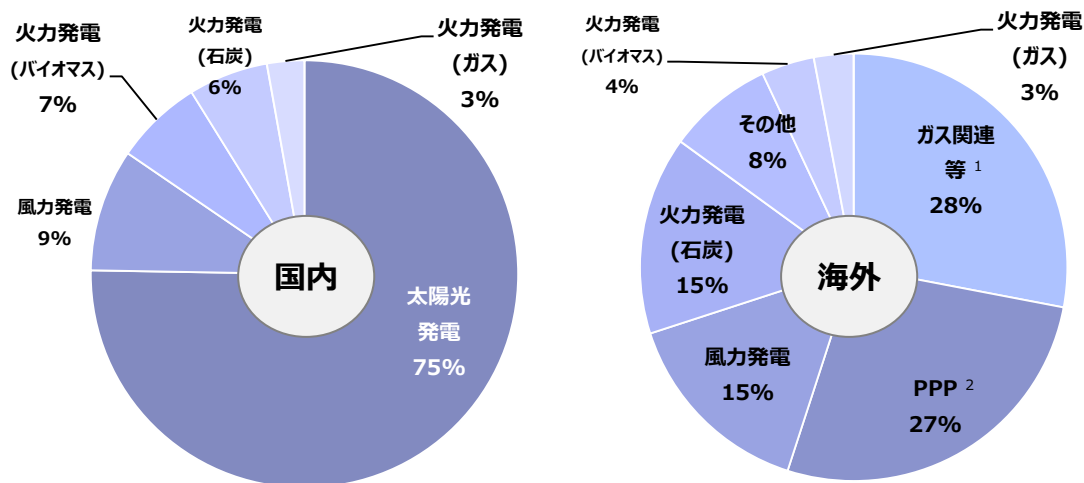
- 銀行カードローン残高
- 専業 無担保ローン残高

「無担保ローン市場」=「銀行カードローン残高」+「専業 無担保ローン残高」
 「銀行カードローン残高」：日銀統計の国内銀行および信用金庫の個人向けカードローン残高
 「専業 無担保ローン残高」：日本貸金業協会統計の消費者向け無担保貸付（消費者金融業態）
 の月末貸付残高（住宅向け貸付除く）

ストラクチャードファイナンスのポートフォリオ (2018年6月末)

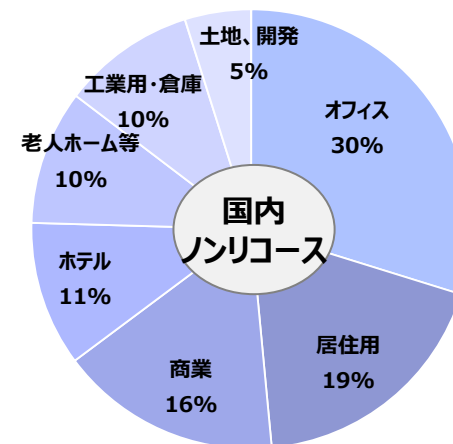
プロジェクトファイナンス

【案件タイプ別の残高構成】

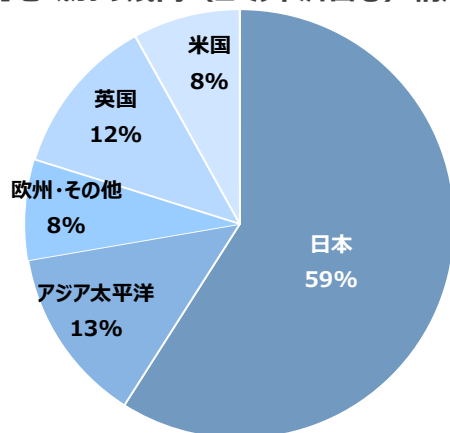


不動産ファイナンス

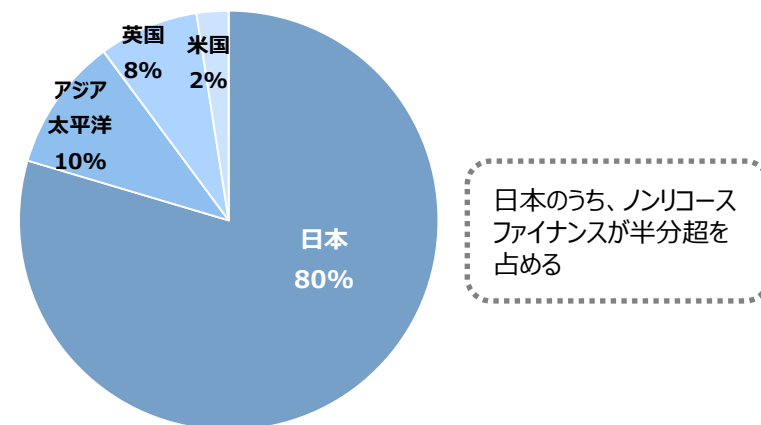
【物件タイプ別の残高構成】



【地域別の残高 (コミット済含む) 構成】



【地域別の残高 (ノンリコース+法人・REIT) 構成】



日本のうち、ノンリコースファイナンスが半分超を占める

¹ LNG液化施設や受入れターミナル等の施設に対するファイナンス

² パブリック・プライベート・パートナーシップ

主要データ

バランスシート

(単位：10億円)	15.3	16.3	17.3	18.3	18.6
貸出金	4,461.2	4,562.9	4,833.4	4,895.9	4,846.7
有価証券	1,477.3	1,227.8	1,014.6	1,123.5	1,121.6
リース債権および リース投資資産	227.0	211.4	191.4	171.4	164.6
割賦売掛金	459.1	516.3	541.4	558.8	556.2
貸倒引当金	-108.2	-91.7	-100.1	-100.8	-103.5
繰延税金資産	15.3	14.0	15.5	14.7	15.0
資産の部合計	8,889.8	8,928.7	9,258.3	9,456.6	9,453.8
預金・譲渡性預金	5,452.7	5,800.9	5,862.9	6,067.0	6,059.7
借入金	805.2	801.7	789.6	739.5	712.9
社債	157.5	95.1	112.6	85.0	75.5
利息返還損失引当金	170.2	133.6	101.8	74.6	70.9
負債の部合計	8,136.0	8,135.6	8,437.5	8,600.6	8,592.0
株主資本	728.5	786.8	823.7	862.5	866.8
純資産の部合計	753.7	793.1	820.7	856.0	861.8

財務比率

(単位：%)	14.4-15.3	15.4-16.3	16.4-17.3	17.4-18.3	18.4-6
経費率	60.2	64.9	62.3	61.5	61.2
預貸率	81.8	78.7	82.4	80.7	80.0
ROA	0.7	0.7	0.6	0.5	0.4 ⁴
ROE	9.8	8.1	6.3	6.1	4.3 ⁴
RORA	1.2	1.1	0.8	0.8	0.6 ⁴
不良債権 比率 ¹	1.42	0.79	0.22	0.17	0.17
コア自己資 本比率 ²	14.86	14.20	13.06	12.83	12.72

1株当たりデータ

(単位：円)	14.4-15.3	15.4-16.3	16.4-17.3 ³	17.4-18.3 ³	18.4-6
BPS ³	275.45	294.41	3,163.89	3,376.39	3,419.64
EPS ³	25.57	22.96	194.65	199.01	35.99

格付情報

	15.3	16.3	17.3	18.3	18.6
R&I	BBB+	BBB+	BBB+	A-	A-
JCR	BBB+	BBB+	BBB+	BBB+	A-
S&P	BBB+	BBB+	BBB+	BBB+	BBB+
Moody's	Baa3	Baa3	Baa2	Baa2	Baa2

¹ 金融再生法に基づく開示不良債権比率（単体）

² 国内基準、経過措置ベース

³ 2017年10月1日付の株式併合（10株→1株）を反映しています。FY16は今期の表記に調整しています

⁴ 年換算ベース

免責条項

- 本資料に含まれる当行の中期経営計画には、当行の財務状況および将来の業績に関する当行経営者の判断および現時点の予測について、将来の予測に関する記載が含まれています。こうした記載は当行の現時点における将来事項の予測を反映したものです。かかる将来事項はリスクや不確実性を内包し、また一定の前提に基づくものです。かかるリスクや不確実要素が現実化した場合、あるいは前提事項に誤りがあった場合、当行の業績などは現時点で予測しているものから大きく乖離する可能性があります。こうした潜在的リスクには、当行の有価証券報告書に記載されたリスク情報が含まれます。将来の予測に関する記載に全面的に依拠されることのないようご注意ください。
- 別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に公正妥当と認められている会計原則に従って表示されています。当行は、将来の事象などの発生にかかわらず、必ずしも今後の見通しに関する発表を修正するとは限りません。
尚、特別な注記がない場合、財務データは連結ベースで表示しております。
- 当行以外の金融機関とその子会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- 本資料はいかなる有価証券の申込みもしくは購入の案内、あるいは勧誘を含むものではなく、本資料および本資料に含まれる内容のいずれも、いかなる契約、義務の根拠となり得るものではありません。